

令和2～3米穀年度の需給見通し(7月30日食糧部会基本指針・全米販(全体需給)見通し)

令和2～3米穀年度の需給見通し

【全米販試算】

(単位:万トン)

年	主食用米				棚上備蓄 政府米 (7～6月)
	国による(全体需給) 見通し		全米販(全体需給) 見通し		
		(7～6月)		(11～10月)	
	R元年6月末在庫	189	R元年10月末 (1年古米)在庫	34	R元年6月末 備蓄量 91
元 / 2	元年産生産量	726	元年産生産量	726	元年産買入数量 19
	全国作況(12/10)	【99】			
	作付面積(前年増減)	【▲0.7万ha】			
	需要量	713	需要量	714	非主食用販売量 11～19
	R2年6月末 在庫	201	R2年10月末 (1年古米)在庫見通し	46	R2年6月末 備蓄 91
2 / 3	2年産生産量見通し (2年7月指針)	709～717	2年産生産量見通し (2年7月指針)	709～717	2年産買入 予定数量 21
	需要量	715	需要量	712	非主食用販売量 13～21
	R3年6月末 在庫見通し	196～204	R3年10月末 (1年古米)在庫見通し	43～51	R3年6月末 備蓄見通し 91～99

- 注) 1、令和元年産米については、高温等の影響により産地品種銘柄によっては精米歩留まりが例年よりも低下している状況にあること等から、実際に主食用米等として流通する数量は減少する可能性がある。
 2、元年10月末(1年古米)在庫は、農水省公表による民間在庫量・1年古米である。
 3、本会(全体需給)見通しによる元RY(11～10月)需要量714万トンは、国による元/2年需要実績(速報値)713万トンの8ヶ月分と、国による2/3年需要量(推計値)715万トンの4ヶ月を合計したものである。
 4、本会(全体需給)見通しによる2RY(11～10月)需要量712万トンは、国による2/3年需要量(推計値)715万トンの8ヶ月分と、本組合が試算した3/4年需要量(試算値)705万トンの4ヶ月分を合計したものである。
 5、ラウンドの関係で合計値が一致しない場合がある。

(参考) 国による需給実績及び需給見通し(2年7月食糧部会)

(単位:万トン)

		主食用米等									
		23/24年実績	24/25年実績	25/26年実績	26/27年実績	27/28年実績	28/29年実績	29/30年実績	30/元年実績	元/2年速報	2/3年見通
当年6月末民間在庫	A	181	180	224	220	226	204	199	190	189	201
生産量(生産量見通し)	B	812	821	818	788	744	750	731	733	726	709～717
備蓄米代替供給量 (24/25年以前は政府米主食用販売)	C	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
非主食用途への販売事業		—	—	▲35	—	—	—	—	—	—	—
主食用米等供給量	D= A+B+C	993	1,005	1,007	1,008	970	954	930	923	915	910～918
主食用米等需要量	E	813	781	787	783	766	754	740	735	713	715
翌年6月末民間在庫	F= D-E	180	224	220	226	204	199	190	189	201	196～204

(注)ラウンドの関係で合計値が一致しない場合がある。